

## 冬の森の宝石

彩り豊かな紅葉の季節が過ぎると森は冬の装いに  
2023年最終号は、冬の森にこそ輝く“宝石”の紹介です♪



ツルウメモドキとルリビタキ(♀)

### 「ツルウメモドキ」

北海道から九州の温帯に自生するツル性の木。葉がウメの葉に似ていることからこの名がつけました。

黄色の果実が熟すと、果皮が3つに裂けて中から赤橙色の「仮種皮(かしゅひ)」と呼ばれる付属物に包まれた種子が現れます。まるで宝石“カーネリアン”のような色。

鮮やかな赤橙色と黄色は、多くの野生動物の目を引くのでしよう。ルリビタキやメジロなどの野鳥がせわしなく採食している場面に出会いました。そして、足元には仮種皮を食べたテンのフンも…。フンらしからぬ色にドキッとしますが、これも見事な冬の森の宝石でしょうか?!



「ヒサカキ」



「フユイチゴ」



「ヤドリギ」



「サネカズラ」



「ムラサキシキブ」



「アオキ」



「センダン」



「ゴンズイ」



「ジャノヒゲ(リュウノヒゲ)」

## コレンジャー同窓会、開催!



11月の良き日、小学5年生から大学2年生までの同窓生13名がビオトープに集いました♪終わりの会には1名が駆けつけてくれました。

活動内容は、12月に現役生が安全に整備を行うための準備作業を行いました。ビオトープの整備活動は今年で10年目となります。初めて同窓会に参加した仲間から

「ビオトープを0から作った先輩にも会えて嬉しかった」と話があり、話を聞いていた二十歳の本人たちも何だかとても嬉しそうでした☆

忙しい中、集まってくれてみんなありがとう!みんなと育ててきた場所を、今年も現役生につなぎます↓ ↓ ↓

## 現役生、ビオトープ整備完了!

先輩たちが準備してくれたので、13期コレンジャーと無事に整備を終えることができました。

「これまでの活動の中で、一番楽しかった!」「この活動を楽しみにしていた!」というみんな。

自然や仲間のために協力してくれて、ありがとう!!! 来年、ビオトープの様子を一緒に見に行こうね♪



## ～ 野生動物を人里へ引き寄せないために ～

9月号のレンジャー新聞でも報告しましたが、今年はナラ枯れの影響もあり「どんぐりが不作」の年です。

どんぐりが不作の年は、秋期に食物を求めてツキノワグマ等の野生動物が人里に出没する可能性が高くなります。

市内では過去に、年末までツキノワグマの人里への出没が続いた年がありました。そのため、引き続き野生動物と人の命を守るための対策として「果実を収穫する・暗い時間の一人歩きは控える、ゴミは決まった時間に外に出す等」にご協力をお願いします。



キウイは収穫しましょう



果実の空箱も誘引物になることがあるので、室内に!